おしえて！感染症 さがみはら

2026年11月

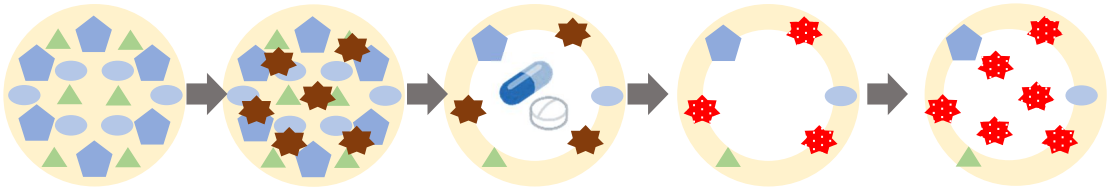
毎年11月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！



今月の注目疾患：薬剤耐性（AMR）

「薬剤耐性（AMR: Antimicrobial Resistance）」とは細菌などの病原微生物に対し抗菌薬が効かなくなることを意味し、そのような耐性を獲得した細菌を「薬剤耐性菌」と呼んでいます。近年、薬剤耐性菌が世界中で増えており、死亡者の数は年間127万人にのぼると推計されています（2019年）。このまま何も対策をとらければ、2050年には約1,000万人が薬剤耐性菌によって死亡すると想定され、がんによる死亡者数を上回ると言われています。

薬剤耐性菌の増え方



からだの中には免疫力を保つ害のない細菌(常在菌)がいます。

体内に病原菌が侵入し増えることで感染症を発症します。

抗菌薬は病原菌だけでなく常在菌も攻撃し退治してしまいます。

病原菌が耐性菌に変化したり、もともとからだの中にいた薬剤耐性菌が生き残ります。

からだの中で薬剤耐性菌が増えていきます。

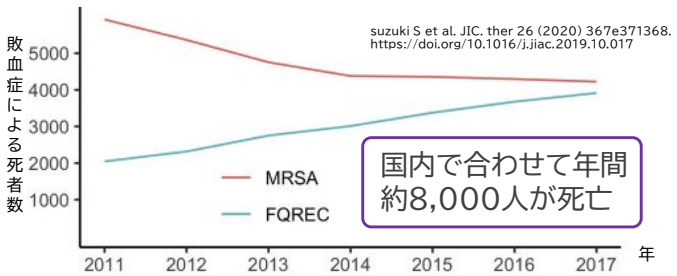
ポイント

薬剤耐性菌がいる状態で抗菌薬を中途半端に服用すると病原体を抑えつける常在菌がいなくなり、かえって薬剤耐性菌が増えてしまうことになります。

日本における代表的な薬剤耐性菌

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）
フルオロキノロン耐性大腸菌（FQREC）　など

MRSAとFQRECに起因する敗血症による死者数



国内で合わせて年間約8,000人が死亡

薬剤耐性菌感染症になると…



・治療薬が限定される
・治療が長引く
・治療が難しくなり、重症化のリスク増大

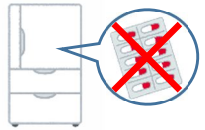
薬剤耐性菌を増やさないためには？

必要がないときは抗菌薬(抗生物質)を飲まないようにしましょう。また、処方されたら医師の指示どおりに飲むことが大切です。勝手に止めたり、量や回数を変更しないようにしましょう。





抗菌薬は医師の指示どおりに飲み切りましょう



抗菌薬を余らせたりとっておかない



抗菌薬をもらったりあげたりしない



わからないことは医師や薬剤師に聞きましょう

抗菌薬は、細菌に有効な薬です。
ほとんどの「風邪」の原因であるウイルスなどには効きません。

今すぐにできる対策

感染症を予防することで、薬剤耐性の予防にもつながります。日々手洗いを心がけ、必要なワクチンはきちんと接種し、感染症を予防しましょう！

正しい手洗い　ワクチン接種　咳エチケット

★相模原市感染症情報センターでは毎週感染症に関する情報を掲載しています

相模原市　感染症情報センター

発行　相模原市衛生研究所